

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 石巻市立鮎川小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒986-2523

宮城県石巻市鮎川浜清崎山1-1

E-mail elsayukcl@city.ishinomaki.lg.jp

Website

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/school/20304000/d0030/index.html>

幼児児童生徒数 男子 16名 女子 9名 合計 25名

幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

① 本校のESDのねらい

ア 様々な人やものとの関わり合う豊かな体験を通して、課題を追求する態度を養うとともに、つながりを実感する。

イ 世界の様々な国の事情を知り、自然災害、貧困、人権、平和、開発、環境等の現実社会の課題を自らの問題として捉え、それらを解決する活動に持続的に取り組もうとする意識を高める。

② 本校のESDで目指す児童像

ア 興味・関心をもち、進んで探究しようとする子供

イ 思いやりの心をもち、互いを認め合う子供

ウ ふるさとのよさを理解し、広い視野で世界とのつながりを考える子供

エ 進んでコミュニケーションできる子供

オ 学んだことを発信し、実践できる子供

カ 自分の命や安全を自分で守ることができる子供

③ 防災・安全教育の取組

ア 宮城県教育委員会が作成した防災教育副読本を活用した防災教育年間計画を作成し、毎月1回業前に「防災の時間」として防災学習を実施し

ている。



1・2年生の様子 1



1・2年生の様子 2

イ 地域とのつながりを大切にした防災教育として、地域の人たちとの合同避難訓練や地域に残る津波の碑の清掃活動をしている。



避難の様子



津波碑の清掃の様子

ウ 本校では、災害安全だけでなく、交通安全や生活安全にも力を入れて取り組んでいる。地域の駐在所と連携した交通安全教室や不審者対応教室を実施したり、「教職員の目線では気付けないところがあった」という課題から、教職員と児童が合同で行う施設安全点検を実施したりしている。



教職員と合同で実施する子供安全点検

④ 地域の伝統文化継承の取組

地域の伝統・文化を伝え、地域に元気を与えられるよう、4年生以下は「七福神舞」、5・6年生は「牡鹿銀鱗太鼓」に取り組んでいる。この練習には地域の方に協力していただいている。月ごとに定期的に練習を重ね、運動会や学芸会、地元の祭りなどで発表しているが、今年度は、地域の産業祭や敬老会でも披露し皆さんから大きな拍手をもらった。児童は地域の方々に喜んでいただいていることにやりがいを感じている。



5・6年生の牡鹿銀鱗太鼓

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(業前)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

<ul style="list-style-type: none">・ ユネスコスクールウェブサイトとウェブサイト内関係資料・ ユネスコスクールウェブサイト「みんなの掲示板」
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ESD・ユネスコ活動計画として、本校の教育課程に位置付けている。学期ごとに、学校経営反省会を実施し、工夫改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度始めに、教育計画の読み合わせをして、本校のESD・ユネスコ活動計画について共通理解を図りながら取り組んでいる。他校の実践辞令やユネスコスクール掲示板での情報を回覧している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学期ごとの学校経営反省で、教職員での内部評価をしている。課題としてあがったのは、現在のESDの状況を把握して本校の現在の活動の関連性や今後の方向性をしっかり定めていくことが出された。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

地域の方々には、学校だより等で活動の様子を紹介している。また、学校のウェブページをとおして、広く取組の発信をしている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

本県には、宮城教育大学などのESDコンソーシアムがあるが、現在は、密接な連携はできていない。今後は、研修会に参加するなどしてネットワークを築いていきたい。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクール掲示板でのコミュニケーションはあるが、現在は、まだ、協働で活動する交流はない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

今年度、全校集会で持続可能な社会づくりに向けた意識づけをした。今後は、保護者にも何かしらの投げかけをしていきたい。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

今年度、教職員へSDGsについての投げかけをしたので、30年度には、SDGsをより具体的に意識して取組を進められるようにしたい。